

## 79. ホタルブクロ

キキョウ科

🌸 6~7月



野山に普通にみられる草で、全体にやわらかい毛でおおわれている。花は、スズランの花を大きく拡大した感じで、つり鐘に似ている。花の咲いている時期が短く、ひっそりと咲く可憐な花である。花びらは、白色または、淡紅紫色で濃い色の斑点がある。短い地下茎をひく。葉は、スマレサイシンの葉のような感じである。茎は、切ると白い乳液を出す。花を手へのせ、上から軽くたたくと「ボン」と音をたてる。また、手の平にのせる位置や、たたき強さによって音色が変わるので楽しく遊べる。

音をたてるところから、ポンポンバナ、テップウバナとも呼ばれている。名は、昔、堤燈（ちょうちん）を“火垂る袋（ほたるぶくろ）”と言ったことや、子ども達がつかまえたホタルをこの花の袋の中に入れ、花の口をおさえて持ち歩いたことからついたともいわれている。



(六甲山)



(六甲山・1/5)